

東京園芸ニュース (28年度-74号)

平成28年12月 / 群馬県東京園芸情報センター

有名パティシエが創る新作クリスマスケーキ ぐんまのやよいひめ×Toshi Yoroizuka!

【Toshi Yoroizuka】やよいひめのクリスマスケーキ

- 日時：12月23日(金)～12月25日(日)
- 会場：日本橋三越本店、銀座三越
- 主催：ぐんまブランド推進課、鎧塚俊彦氏
- 内容：鎧塚俊彦氏とのコラボ企画による新作クリスマスケーキの販売

■たっぷりと敷き詰められた群馬県産やよいひめ！

今年も三越伊勢丹の基幹2店舗（日本橋三越本店、銀座三越）で「CHRISTMAS CAKE & DINNER 2016」の「やよいひめ」をたっぷり使用したクリスマスケーキが販売されました。このケーキは、世界的に有名なパティシエの鎧塚俊彦氏とのコラボ企画で、やよいひめをたっぷり使用し、いちごとラズベリーにアクセントのパッションフルーツを合わせ、今年のクリスマス用につくられたものです。鎧塚氏とは2015年よりタグを組んでおり、お客様の五感に訴える独創性の高い「やよいひめ」のスイーツを開発しています。鎧塚氏は群馬県産のやよいひめを「色がキレイで、酸味と甘みのバランスがとっても良い」と評価しています。

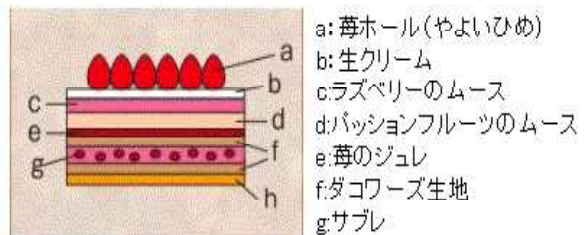
日本橋三越本店では10月4日から、銀座三越では10月8日から予約が行われ、数量は100台限定、価格は10,001円（税込）、今年も好評で、予約で完売とのことでした。

■群馬県産いちごの82%がやよいひめ！

平成27年度群馬県のいちご栽培で、やよいひめは82%を占めています（技術支援課調べ）。やよいひめは、大果で日持ちが良く、糖度が高く食味は良好で、市場担当者からも高い評価を得ています。今年の県産やよいひめの出荷開始は、平年並からやや遅く、2月上中旬に出荷量が多くなる見込みです。平成28年都中央いちご類の入荷量は前年及び平年より少なく推移しており、12月中旬で栃木県が101%と平年並でしたが、福岡県77%、茨城県80%、佐賀県79%と平年をかなり下回っています。これは、全国的に花芽分化がやや遅れ、9月の天候不順で圃場整備や定植作業の遅れたのが原因と考えられます。



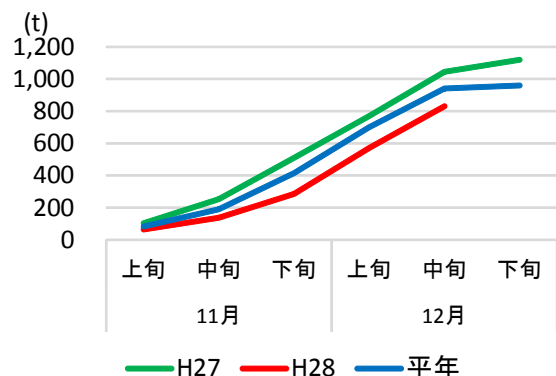
クリスマスケーキ「やよいひめ」



クリスマスケーキ「やよいひめ」詳細



「CHRISTMAS CAKE & DINNER 2016」の商品例



H28年都中央いちご類の入荷状況（11月～12月）